

STORM MOBILE

セットアップガイド



ご注意

- (1) 本製品の一部または全部を無断で複製することを禁止します。
- (2) 本製品の内容や仕様は将来予告無しに変更することがあります。
- (3) 本製品は内容について万全を期して作成しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気付きの点がございましたら、当社までご連絡ください。
- (4) 運用した結果については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
- (5) ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。
- (6) 本製品付属のソフトウェア、ハードウェア、マニュアル、その他添付物を含めたすべての関連製品に関して、解析、リバースエンジニアリング、デコンパイル、ディスアセンブリを禁じます。
- (7) EDIUS / エディウスおよびそのロゴは、グラスバレー株式会社の登録商標です。
- (8) Microsoft、Windows は米国マイクロソフト・コーポレーションの登録商標です。
- (9) Intel、Pentium、Xeon、Core Duo は、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテル コーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
- (10) QuickTime および QuickTime ロゴは、ライセンスに基づいて使用される商標です。QuickTime は、米国およびその他の国々で登録された商標です。
- (11) Adobe、Adobe ロゴ、Adobe Reader はアドビシステム社の登録商標です。
- (12)  Dolby、ドルビーおよびダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
- (13) HDV はソニー株式会社と日本ビクター株式会社の商標です。
- (14)  HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。
- (15) その他の商品名やそれに類するものは各社の商標または登録商標です。



表記について

- 本書での説明と実際の運用方法とで相違点がある場合には、実際の運用方法を優先するものとします。
- 本書で使用している画像は開発中のものであり、実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書は PC の基本的な操作を行なうことができる方を対象に書かれています。特に記載の無い操作については、一般的な PC の操作と同様に行なってください。
- 本書は STORM MOBILE ブレイクアウトボックスモデル（デスクトップ PC 接続用・ラップトップ PC 接続用）、STORM MOBILE BAY モデルの共通マニュアルです。

- 本書では、STORM MOBILE ブレイクアウトボックスと STORM MOBILE BAY を「STORM MOBILE」と表記します。
- 本書では Microsoft® Windows® 7 operating system を Windows 7 (Ultimate、Professional、Home Premium、Home Basic の総称) と表記します。
- 本書では Microsoft® Windows Vista® operating system を Windows Vista (Ultimate、Business、Home Premium、Home Basic の総称) と表記します。
- 本書では、Microsoft® Windows® XP Professional operating system を Windows XP と表記します。



健康上の注意

ごくまれに、コンピューターのモニターに表示される強い光や刺激や点滅によって、一時的にてんかん・意識の喪失などが引き起こされる場合があります。こうした経験をこれまでにされたことがない方でも、それが起こる体質をもっていることも考えられます。こうした経験をお持ちの方や、経験をお持ちの方の血縁にあたられる方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。

著作権について

テレビ放送やビデオなど、他人の作成した映像／音声をキャプチャしたデータは、動画、静止画にかかわらず個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。また、個人として楽しむ目的であっても複製が制限されている場合があります。キャプチャしたデータのご利用に対する責任は一切負いかねますのでご注意ください。

STORM MOBILE
セットアップガイド
February 28, 2011
Copyright © 2011 Grass Valley K.K.
All rights reserved.

目次

安全に関する注意事項	5
------------	---

1 はじめに

ご使用になる前に	7
----------	---

2 ハードウェアセッティング

各部の名称	10
ハードウェアの取り付け	14
EDIUS をインストールする	27
EDIUS インストール後の確認	28
EDID Monitor について	32

3 EDIUS の起動とプロジェクト作成

EDIUS を起動する	33
プロジェクトを作成する	34

4 編集環境の設定

デバイスプリセットを登録する	38
プレビューデバイスを設定する	53

5 ハードウェア仕様

STORM MOBILE ブレイクアウトボックス	58
STORM MOBILE BAY	59
STORM MOBILE PCI Express カード	60
STORM MOBILE ExpressCard	60

安全に関する注意事項

■絵表示について

本製品を安全に正しくお使いいただくために、以下の内容をよく理解してから本文をお読みください。

 **警告**：人が死亡または重傷を負う恐れのある内容を示しています。

 **注意**：けがをしたり財産に損害を受ける恐れのある内容を示しています。

■絵表示の意味

 ：この記号はしてはいけないことを表しています。

 ：この記号はしなければならないことを表しています。

：この記号は気をつける必要があることを表しています。

■ご購入製品を使用される際の注意事項

ここでは、ご購入製品を使用されるときにご注意いただきたい事柄について説明しています。

 **警告**

 ●健康上のご注意

ごくまれに、コンピューターのモニターに表示される強い光の刺激や点滅によって、一時的にてんかん・意識の喪失などが引き起こされる場合があります。こうした経験をこれまでにされたことがない方でも、それが起こる体質をもっていることも考えられます。こうした経験をお持ちの方や、経験をお持ちの方の血縁にあたられる方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。

 ●製品のご利用についての注意事項

医療機器や人命に関わるシステムでは、絶対にご利用にならないでください。製品の性質上、これらのシステムへの導入は適しません。

 ●製品の取り付けおよび取り外しに関する注意事項

製品の取り付けおよび取り外しを行う場合、必ずパソコン本体および周辺機器の電源を切り、さらに電源ケーブルをコンセントから抜いた状態で行ってください。

パソコン本体および周辺機器の電源を入れたまま、製品を取り付けたり取り外したりした場合、製品やパソコン本体、周辺機器および周辺機器に接続されている機器の一部が破壊される恐れがあります。また、パソコン本体および周辺機器の電源ケーブルをコンセントから抜かず、パソコン本体や周辺機器の筐体（電源ユニットなど）、機器の金属部分に触れた場合には感電する恐れがあります。



●静電気に関する注意事項

製品に静電気が流れると製品上の部品が破壊される恐れがあります。各コネクタや部品面には直接手を触れないでください。

静電気は衣服や人体からも発生します。製品に触れる前に、一旦接地された金属製のものに触れてください（体内の静電気を放電することになります）。



注意



●消費電流に関する注意事項

複数の拡張ボードをパソコンに取り付けるときは、ご購入製品を含めたすべての製品の消費電流の合計がパソコンの最大供給電流を超えていないことを必ず確認してください。全ボードの消費電流の合計がパソコンの最大供給電流を超えたりするなどの動作条件を満たさない環境で使用し続けると、システムが正常に動作しない場合やシステムに負荷がかかり、パソコンが故障する原因となる恐れがあります。

消費電流のわからない製品については、その製品の取扱説明書をご覧ください。どうか、メーカーに直接お問い合わせいただいてお確かめください。



●他社製品と併用されるときの注意事項

他社製品と併用されるとご購入製品が正常に動作しないことがあります。そのためにシステムが本来の目的を達成することができないこともあります。あらかじめ、製品単体の環境で購入製品が正常に動作することをご確認ください。また、他社製品との併用によって購入製品が正常に動作しないのであれば、その他社製品と購入製品との併用はお止めください。



●その他の注意事項

製品は指定された位置に指示通り取り付けてください。指示通りに取り付けられていない場合、製品の金属部分とパソコンの金属部分が接触してショートするなどの要因で、製品やパソコン本体・周辺機器が破壊される恐れがあります。

製品を取り扱うときは、手など皮膚を傷つけないよう十分にご注意ください。ハードウェアの仕様上、製品のパネル、コネクタ、エッジ、裏面は金属のピンが、突出していることがあります。製品を取り付けたり取り外したりするときは、製品全体を軽く包み込むようにお持ちください。動作中の製品は熱により非常に熱くなります。長時間使用した製品に手を触れる際には、十分にご注意ください。

はじめに

ご使用になる前に

動作環境

ご注意 • 下記の条件を満たすすべての環境で動作を保証するものではありません。

PC 本体

下記の条件を満たす PC/AT 互換機

CPU : Intel Pentium 4, Xeon, Core Duo 以上の CPU

※ EDIUS を使用する場合には、SSE2 命令をサポートした CPU が必要です。

※ EDIUS はマルチプロセッサ、ハイパー・スレッディング・テクノロジーに対応しています。

PCI バス (STORM MOBILE ブレイクアウトボックスモデル < デスクトップ PC 接続用 > / STORM MOBILE BAY モデルの場合)

PCI Express x1 (PCI Express Spec. Revision 1.0a) × 1

拡張カードスロット (STORM MOBILE ブレイクアウトボックスモデル < ラップトップ PC 接続用 > の場合)

ExpressCard/34 準拠

Section 1 - はじめに

ハードディスクドライブ

ソフトウェアのインストールに 6GB 以上の空き容量が必要
映像用に ATA100/7200 回転以上のドライブが必要

※ HD 解像度編集を行う場合は RAID 0 を推奨

※ ハードディスクドライブの空き容量は、編集するファイル容量の 2 倍程度必要

グラフィック

Direct3D 9.0c 以降 PixelShader3.0 以上

1024x768pixel 32bit 以上の表示が可能であるもの

メモリとビデオメモリ

メモリとビデオメモリの動作条件は表のとおりです。

フレームサイズ		SD サイズ	HD サイズ
量子化ビット数		8bit	8bit
32bit OS		○	○
64bit OS		○	○
メモリ	最低	1GB	2GB
	推奨	2GB	4GB
ビデオメモリ	最低	256MB	512MB
	推奨	512MB	1GB

POINT

- EDIUS 6 のソフトウェアの仕様では、10bit フォーマットの入出力や HD より大きいサイズの映像の出力に対応しています。

サウンドシステム

WDM ドライバーに対応したもの

光学ドライブ

インストールに DVD-ROM が必要

※ BD や DVD-Video の作成には、対応したドライブが必要です。

対応 OS

Windows 7 (32bit/64bit)

※ ただし、Windows 7 Starter は除く

Windows Vista SP2 以上 (32bit/64bit)

Windows XP SP3 以上 (32bit)

Internet Explorer 8 以上

※ ただし、Virtual PC、VMWare、Windows 7 の Windows XP mode など仮想 OS 内での動作は保障しません。

USB ポート

1 つ使用 (USB1.1 以上。USB キーで使用)

その他

インターネット接続環境、メールアドレス

※ ユーザー登録、サポート、ソフトウェアのアップデートに必要。

制限事項

本製品をご使用いただくにあたり、以下の制限事項がありますのであらかじめご確認ください。また、各アプリケーションの「Readme.htm」にはマニュアルに記載されていない事項などが記述されている場合がありますので必ずお読みください。

◆ スタンバイモードについて

本製品は、スクリーンセーバーおよびモニタ電源のスタンバイモードを無効（なし）に設定してご使用ください。

◆ 著作権保護信号について

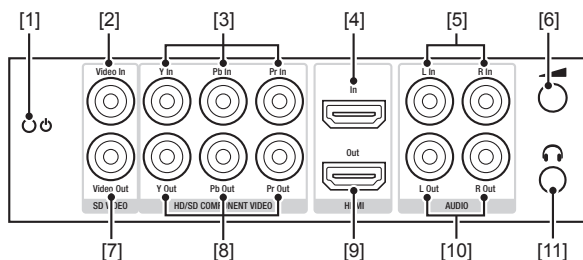
本製品は、コピー禁止の著作権保護信号が付加された映像をキャプチャできません。

ハードウェアセッティング

このセクションでは、STORM MOBILE の各部名称や、STORM MOBILE の取り付けから EDIUS のインストールまでの流れについて説明しています。

各部の名称

STORM MOBILE ブレイクアウトボックス フロントパネル／STORM MOBILE BAY フ ロントパネル



[1] 電源インジケータ

STORM MOBILE に電源が入ると、インジケータが点灯します。

[2] SD VIDEO IN

コンポジットビデオ入力端子です。

[3] HD/SD COMPONENT VIDEO IN (Y / Pb / Pr)

コンポーネントビデオ入力端子です。

S-VIDEO 端子に接続する場合は、付属のアナログビデオ端子変換ケーブルを使用して、STORM MOBILE 側に Y (緑色) と Pb (青色) の端子を接続します。

[4] HDMI IN

HDMI 入力端子です。

[5] AUDIO IN (L/R)

アンバランスオーディオ入力端子 (ステレオ 1 系統) です。

[6] ヘッドフォン出力ボリューム

[7] SD VIDEO OUT

コンポジットビデオ出力端子です。

[8] HD/SD COMPONENT VIDEO OUT (Y / Pb / Pr)

コンポーネントビデオ出力端子です。

S-VIDEO 端子に接続する場合は、付属のアナログビデオ端子変換ケーブルを使用して、STORM MOBILE 側に Y (緑色) と Pb (青色) の端子を接続します。

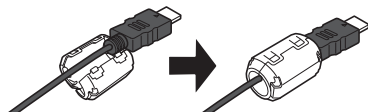
COMPONENT VIDEO OUT 端子から S-VIDEO 出力する場合は、「プレビューデバイスを設定する」の手順 6 の「システム設定」を参照して設定してください。

システム設定 ▶ P56

[9] HDMI OUT

HDMI 出力端子です。

お持ちの HDMI ケーブルを HDMI OUT 端子に接続する場合、HDMI ケーブルの STORM MOBILE との接続側に、同梱のフェライトコアを取り付けてください。



[10] AUDIO OUT (L/R)

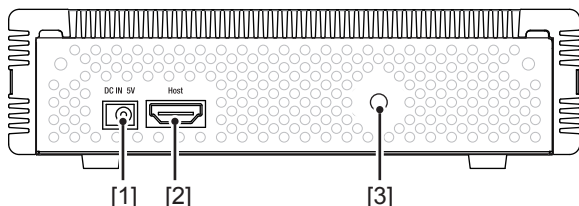
アンバランスオーディオ出力端子（ステレオ 1 系統）です。

[11] ヘッドフォンジャック

STORM MOBILE に装備されている端子を使用した入出力や編集を行うときの音声を確認できます。

ご注意 • PC 本体の IEEE1394 端子や USB 端子を使用して入力するときの音声や、Windows のサウンドは、STORM MOBILE のヘッドフォンジャックからは出力されません。PC 本体のヘッドフォンジャックをお使いください。

STORM MOBILE ブレイクアウトボックス リアパネル



[1] 電源端子

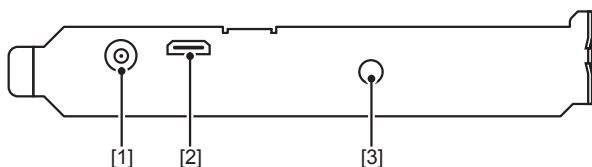
STORM MOBILE ブレイクアウトボックスへの電源供給に使用します。

[2] PCIe バス端子

STORM MOBILE ブレイクアウトボックスと PC との接続に使用します。

[3] ケーブル抜け防止用クランプ装着口

STORM MOBILE PCI Express カード



STORM MOBILE ブレイクアウトボックスまたは STORM MOBILE BAY をデスクトップ PC に接続するための拡張ボードです。

【1】 電源端子

STORM MOBILE ブレイクアウトボックスへの電源供給に使用します。

【2】 PCIe バス端子

STORM MOBILE ブレイクアウトボックスとの接続に使用します。

【3】 ケーブル抜け防止用クランプ装着口

ハードウェアの取り付け

ご購入の製品構成により、STORM MOBILE を PC に取り付ける手順が異なります。

STORM MOBILE ブレイクアウトボックスをデスクトップ PC に接続する ▶ P14

STORM MOBILE ブレイクアウトボックスを BAY として使用する ▶ P18

STORM MOBILE ブレイクアウトボックスをラップトップ PC に接続する ▶ P20

STORM MOBILE BAY をデスクトップ PC に取り付ける ▶ P23

STORM MOBILE ブレイクアウトボックスをデスクトップ PC に接続する

取り付けを行う前に、作業を行うことができるほどの無い乾いたスペースを準備してください。また、プラスドライバーと取り外したねじを入れておく空き箱を用意してください。

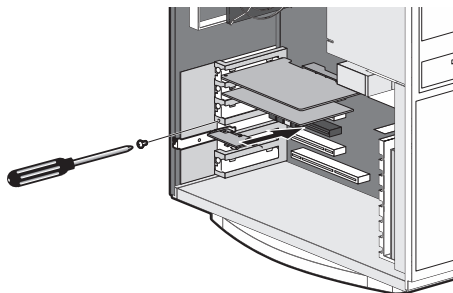
PC の電源、ケーブル類（電源含む）が PC から抜かれていることを必ず確認してください。

※ 付属品やオプションの有無はモデルによって異なります。

POINT

- STORM MOBILE ブレイクアウトボックスをデスクトップ PC に取り付けるには、4 ピンの内部電源ケーブルが必要です。
- STORM MOBILE ブレイクアウトボックスの側板を取り外して、デスクトップ PC の 5 インチベイに取り付けることもできます。
STORM MOBILE ブレイクアウトボックスを BAY として使用する ▶ P18

1 STORM MOBILE PCI ExpressカードをPCI Expressスロットにしっかりと差し込む

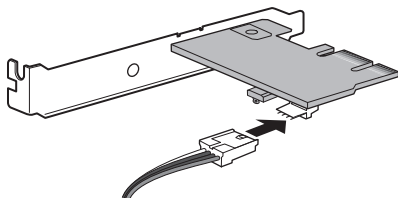


POINT

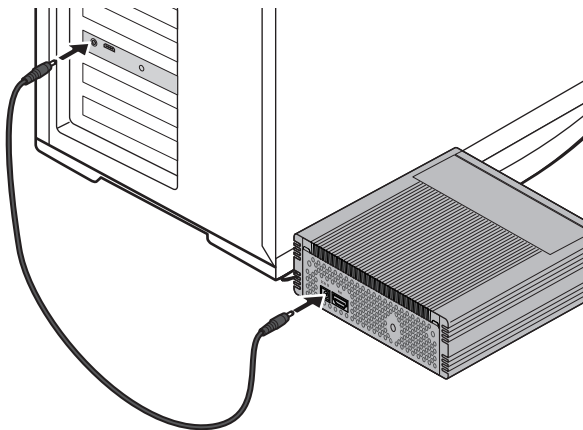
- PCI Express スロットの種類については、ご使用の PC (マザーボード) の取扱説明書をご確認ください。
PCI Express x1 スロット (PCI Express x1) に STORM MOBILE PCI Express カードを装着してください。
※ PCI Express x1 スロットが使用できない場合は、PCI Express x4 スロット、PCI Express x8 スロットまたは PCI Express x16 スロットに取り付けることもできます。
- 当社製のボードは通常、簡単にスロットに装着できます。何かに引っかかりうまく差し込むことができない場合は、無理に押し込まないようにしてください。このような場合は、ボードを一度取り外し、引っかかるの原因を確認してください。また、異なるスロットへの装着を試してください。どうしても何かに引っかかり装着することができない場合は、物理的な問題でボードを使用することができません。当社製のボードは PCI Express および PCI の規格によって設計されていますので、PC に何らかの問題がある可能性があります。このような場合は、PC メーカーまたはマザーボードメーカーへご相談ください。

2 4ピンの内部電源ケーブルを、STORM MOBILE PCI Express カードの4ピン電源端子に接続する

必要に応じて、同梱のケーブル抜け防止用クランプを装着し、ケーブルを取り付けてください。

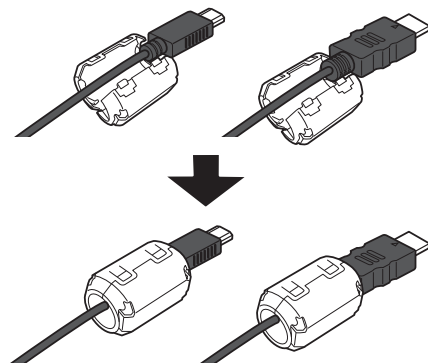


3 同梱の電源ケーブルで、STORM MOBILE PCI Express カードと STORM MOBILE ブレイクアウトボックスを接続する

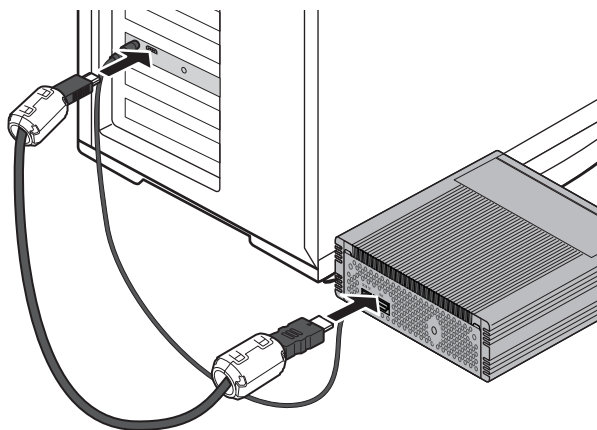


4 同梱の STORM MOBILE PC 接続ケーブルの両側に、
フェライトコアを取り付ける

端子の根元をはさむようにして取り付けます。



5 手順 4 の STORM MOBILE PC 接続ケーブルで、
STORM MOBILE PCI Express カードと STORM
MOBILE ブレイクアウトボックスを接続する



必要に応じて、同梱のケーブル抜け防止用クランプを装着し、ケーブルを取り付けてください。

6 必要に応じて、STORM MOBILE ブレイクアウトボックスに機器を接続する

7 PC の電源を入れる

ご注意 • PC の起動中に、電源ケーブルや STORM MOBILE PC 接続ケーブルの抜き差しをしないでください。

STORM MOBILE ブレイクアウトボックスを BAY として使用する

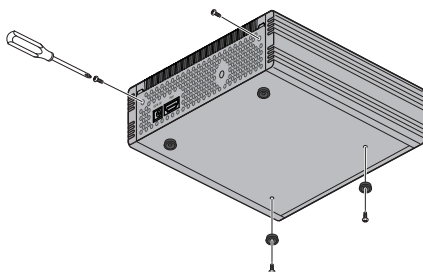
STORM MOBILE PCI Express カードが同梱されている場合、STORM MOBILE ブレイクアウトボックスの側板を取り外して、デスクトップ PC の 5 インチベイに取り付けることもできます。

取り付けを行う前に、作業を行うことができるほどの無い乾いたスペースを準備してください。また、プラスドライバーと取り外したねじを入れておく空き箱を用意してください。

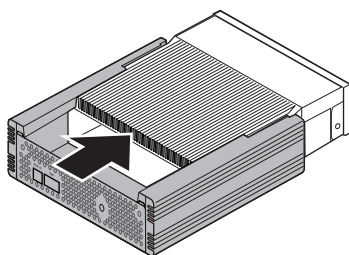
PC の電源、ケーブル類（電源含む）が PC から抜かれていることを必ず確認してください。

POINT • デスクトップ PC の 5 インチベイに STORM MOBILE を装着するには、PC に 5 inch Bay の空きと 4 ピンの内部電源ケーブルが必要です。

- 1 STORM MOBILE ブレイクアウトボックスの背面のネジ2つと底面の前面側のネジ2つ（ゴム足含む）を取りはずす



- 2 STORM MOBILE 本体を取りはずす



- 3 STORM MOBILE 本体を PC に取り付ける

以降の手順は、STORM MOBILE BAY モデルの取り付けの手順と同じです。

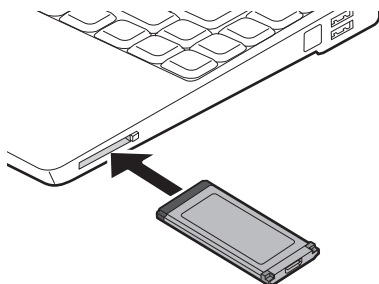
STORM MOBILE BAY をデスクトップ PC に取り付ける ▶ P23

STORM MOBILE ブレイクアウトボックスをラップトップ PC に接続する

ラップトップ PC の電源、ケーブル類（電源含む）が PC から抜かれていることを必ず確認してください。

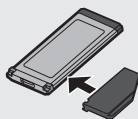
※ 付属品やオプションの有無はモデルによって異なります。

- 1 同梱の STORM MOBILE ExpressCard をラップトップ PC の ExpressCard/34 スロットにしっかりと差し込む



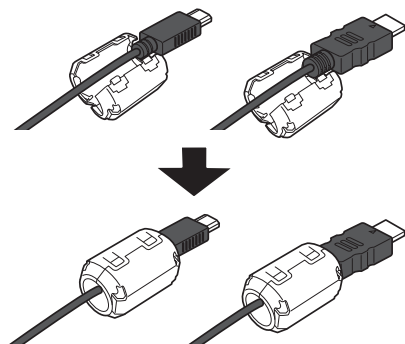
POINT

- お使いのラップトップ PC の ExpressCard スロットが ExpressCard/54 スロットの場合、STORM MOBILE ExpressCard を同梱の ExpressCard/54 スロット用アダプターに装着してからラップトップ PC に差し込みます。

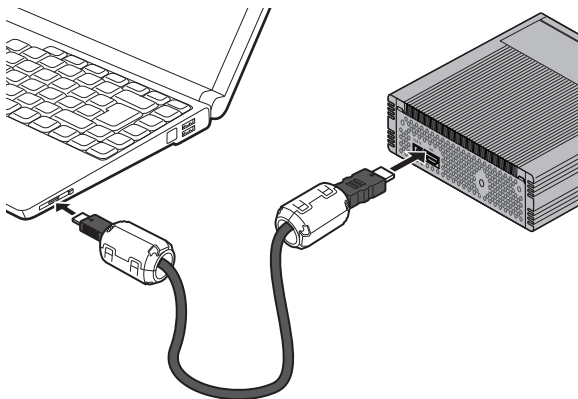


2 同梱の STORM MOBILE PC 接続ケーブルの両側に、
フェライトコアを取り付ける

端子の根元をはさむようにして取り付けます。

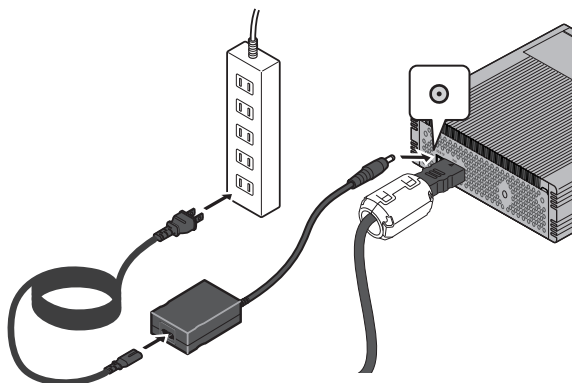


3 手順 2 の STORM MOBILE PC 接続ケーブルで、
STORM MOBILE ブレイクアウトボックスと
STORM MOBILE ExpressCard を接続する



4 必要に応じて、STORM MOBILE ブレイクアウトボックスに機器を接続する

5 AC アダプターを STORM MOBILE ブレイクアウトボックスとコンセントに接続する



必要に応じて、同梱のケーブル抜け防止用クランプを装着し、ケーブルを取り付けてください。

6 ラップトップ PC の電源を入れる

ご注意 • PC の起動中に、電源ケーブルや STORM MOBILE PC 接続ケーブルの抜き差しをしないでください。

STORM MOBILE BAY をデスクトップ PC に取り付ける

取り付けを行う前に、作業を行うことができるほどの無い乾いたスペースを準備してください。また、プラスドライバーと取り外したねじを入れておく空き箱を用意してください。

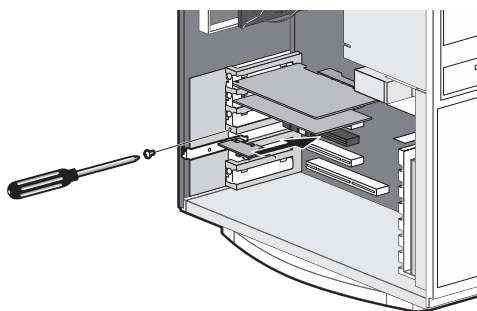
PC の電源、ケーブル類（電源含む）が PC から抜かれていることを必ず確認してください。

※ 付属品やオプションの有無はモデルによって異なります。

POINT

- STORM MOBILE BAY を装着するには、PC に 5 inch Bay の空きと 4 ピンの内部電源ケーブルが必要です。

1 STORM MOBILE PCI Express カードを PCI Express スロットにしっかりと差し込む



POINT

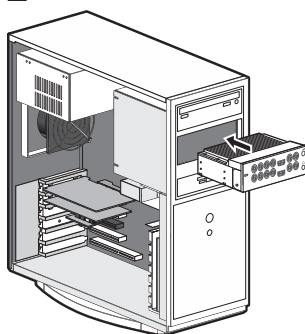
- PCI Express スロットの種類については、ご使用の PC（マザーボード）の取扱説明書をご確認ください。

PCI Express x1 スロット（PCI Express x1）に STORM MOBILE PCI Express カードを装着してください。

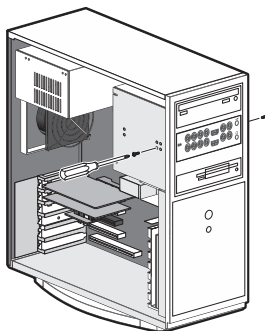
※ PCI Express x1 スロットが使用できない場合は、PCI Express x4 スロット、PCI Express x8 スロットまたは PCI Express x16 スロットに取り付けることもできます。

- 当社製のボードは通常、簡単にスロットに装着できます。何かに引っかかりうまく差し込むことができない場合は、無理に押し込まないようにしてください。このような場合は、ボードを一度取り外し、引っかかるの原因を確認してください。また、異なるスロットへの装着を試してください。どうしても何かに引っかかり装着することができない場合は、物理的な問題でボードを使用することができません。当社製のボードは PCI Express および PCI の規格によって設計されていますので、PC に何らかの問題がある可能性があります。このような場合は、PC メーカーまたはマザーボードメーカーへご相談ください。

2 STORM MOBILE BAY を PC に取り付ける

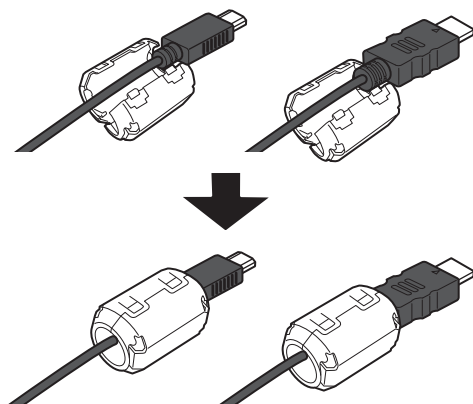


3 STORM MOBILE BAY をネジで固定する

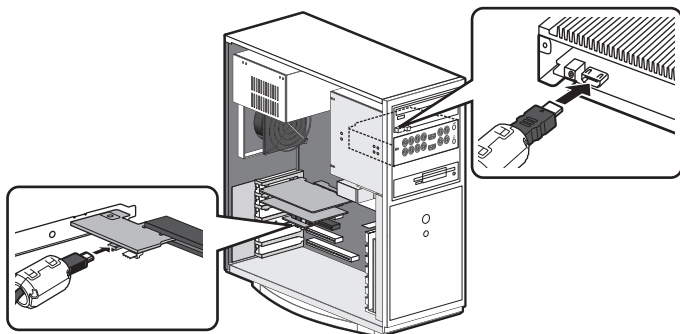


4 同梱の STORM MOBILE PC 接続ケーブルの両側に、フェライトコアを取り付ける

端子の根元をはさむようにして取り付けます。

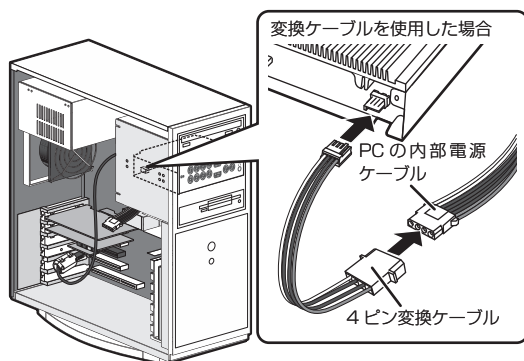


5 手順4の STORM MOBILE PC 接続ケーブルで、
STORM MOBILE PCI Express カードと STORM
MOBILE BAY を接続する



6 PC の内部電源ケーブルを、STORM MOBILE BAY
の4ピン電源端子に接続する

※ お使いの環境により、4ピン変換ケーブルが必要になる場合があります。延長および変換ケーブルは、必要に応じて別途ご用意ください。



必要に応じて、同梱のケーブル抜け防止用クランプを装着し、ケーブルを取り付けてください。

7 PC のカバーを閉じ、必要に応じて、STORM MOBILE BAY に機器を接続する

8 PC の電源を入れる

EDIUS をインストールする

STORM MOBILE の取り付けが完了したら、EDIUS およびドライバーをインストールします。インストールの手順について詳しくは、EDIUS インストールガイドを参照してください。

POINT

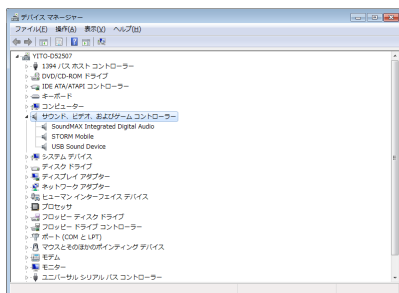
- すでに EDIUS をインストールしている PC で STORM MOBILE を使用する場合、次の手順でドライバーをインストールしてください。
EDIUS 6 Installation DVD を DVD ドライブにセットし、〈Drivers〉→〈Hardware〉フォルダーから〈setup.exe〉をダブルクリックしてください。画面にしたがってインストールを行い、PC をシャットダウン後、再起動してください。

EDIUS インストール後の確認

リソースの確認 (Windows 7/Windows Vista の場合)

ドライバー、アプリケーションソフトのインストールを完了し、再起動後にドライバーが正常にインストールされたかを確認してください。

- 1 <スタート> メニューをクリックし、<コントロールパネル> → <ハードウェアとサウンド> をクリックする
または<スタート>メニューの<コンピューター> (Windows Vista では<コンピュータ>) を右クリックし、<プロパティ> をクリックします。
- 2 <デバイス マネージャー> (Windows Vista では<デバイス マネージャ>) をクリックする
- 3 <サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラー> (Windows Vista では<サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ>) をダブルクリックする



4 デバイス名を確認する

- [STORM Mobile]

デバイス名の頭に「！」や「×」のマークが表示されている場合、ドライバーが正常にインストールされていません。再インストール、リソース競合の確認やボード差込位置の変更などをお試しく下さい。

5 <デバイス マネージャー> (Windows Vista では <デバイス マネージャ>) を閉じる

ドライバーの確認は以上です。

リソースが競合している場合

お使いの製品と他のデバイス類のリソースが競合もしくは共有している場合、正常に動作しないことがあります。以下の方法をお試しく下さい。

- 割り込みを共有する他の機器を取り外すか、他の機器の IRQ の変更を行ってください。
- PC 本体（マザーボード）の BIOS でリソースの設定を変更してください。BIOS の設定方法は各メーカーによって異なりますので、PC 本体、マザーボードなどに付属の取扱説明書をご参照ください。

POINT

- IRQ の設定方法は PC、マザーボードなど各メーカーにより異なります。BIOS で PCI Express や PCI スロットごとに任意の IRQ を割り当てるタイプや、特定の IRQ をあらかじめ予約するタイプなどがあります。

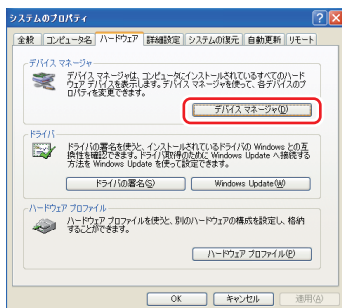
リソースの確認 (Windows XP の場合)

ドライバー、アプリケーションソフトのインストールを完了し、再起動後にドライバーが正常にインストールされたかを確認してください。

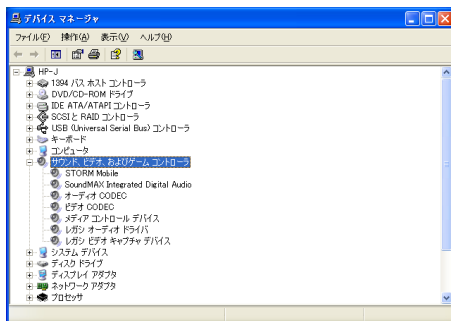
1 〈スタート〉メニューをクリックし、〈コントロールパネル〉 → 〈システム〉 をダブルクリックする

または 〈スタート〉メニューの 〈マイコンピュータ〉 を右クリックし、〈プロパティ〉 をクリックします。

2 〈ハードウェア〉 タブをクリックし、[デバイス マネージャ] をクリックする



3 〈サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ〉 をダブルクリックする



4 デバイス名を確認する

- [STORM Mobile]

デバイス名の頭に「！」や「×」のマークが表示されている場合、ドライバーが正常にインストールされていません。再インストール、リソース競合の確認やボード差込位置の変更などをお試しく下さい。

5 [デバイス マネージャ] を閉じる

ドライバーの確認は以上です。

リソースが競合している場合

お使いの製品と他のデバイス類のリソースが競合もしくは共有している場合、正常に動作しないことがあります。以下の方法をお試しく下さい。

- 割り込みを共有する他の機器を取り外すか、他の機器の IRQ の変更を行ってください。
- PC 本体（マザーボード）の BIOS でリソースの設定を変更してください。BIOS の設定方法は各メーカーによって異なりますので、PC 本体、マザーボードなどに付属の取扱説明書をご参照ください。

POINT

- IRQ の設定方法は PC、マザーボードなど各メーカーにより異なります。BIOS で PCI Express や PCI スロットごとに任意の IRQ を割り当てるタイプや、特定の IRQ をあらかじめ予約するタイプなどがあります。

EDID Monitor について

当社製品を PC に装着した状態で EDIUS やドライバーをインストールすると、同時に、EDID Monitor がインストールされます。

EDID Monitor は、当社製品 STORM MOBILE と HDMI ケーブルで接続されたモニター機器の映像表示能力や受信可能なオーディオチャンネル数などを事前に確認するためのソフトウェアです。

- ご注意**
- EDID Monitor では、モニター側のスペック（表示可能なフォーマット）がすべて表示されます。STORM MOBILE では出力できないフォーマットが表示される場合がありますので、ご注意ください。

EDIUS の起動とプロジェクト作成

EDIUS で編集作業を行うときの一番大きな作業単位となるのがプロジェクトファイルです。プロジェクトファイルには、編集の経過や、映像のフォーマットなどが記録されます。

このセクションでは、EDIUS を初めて起動したときの操作とプロジェクトの作成方法について説明しています。

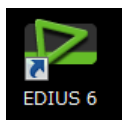
POINT

- EDIUS 6 をご使用いただくには、USB キーを PC の USB ポートに装着する必要があります。
- 次回以降、起動時の操作やプロジェクトの作成手順は、初回起動時と一部異なります。詳しくは、EDIUS リファレンスマニュアルを参照してください。

EDIUS を起動する

EDIUS を起動し、プロジェクトファイルの保存場所を指定します。

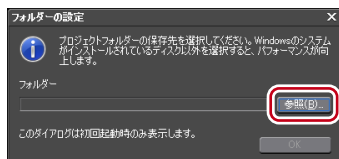
1 デスクトップのアイコンをダブルクリックする



EDIUS をインストール後、初めて起動したときは、〈フォルダーの設定〉ダイアログが表示されます。

2 [参照] をクリックし、プロジェクトファイルを保存するフォルダーを指定する

OS などのシステムがインストールされているドライブ以外に保存先を指定することをおすすめします。



3 [OK] をクリックする

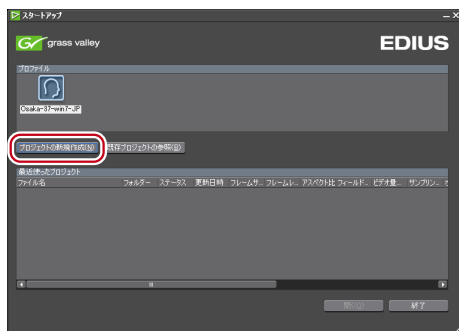
次回からプロジェクトを作成すると、指定したフォルダーに保存されます。

〈スタートアップ〉ダイアログが表示されます。

プロジェクトを作成する

作成するプロジェクトのフォーマットを設定し、プロジェクトプリセットとして登録しておきます。

1 〈スタートアップ〉ダイアログで、[プロジェクトの新規作成] をクリックする

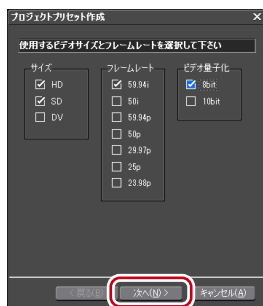


プロジェクトを作成する

初めて起動したときは、「プロジェクトプリセット作成」ウィザードが起動します。

2 〈サイズ〉、〈フレームレート〉、〈ビデオ量子化〉の順番に、各項目 1 つ以上チェックを入れ、[次へ] をクリックする

EDIUS で作成したいプロジェクトのフォーマットに合わせて、ビデオサイズとフレームレート、ビデオ量子化を設定します。1 項目に複数チェックを入れることもできます。



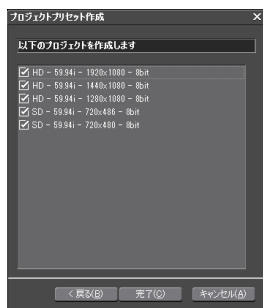
POINT

- EDIUS 6 のソフトウェアの仕様では、〈ビデオ量子化〉を 10bit に設定すると、10bit 精度を保持して編集することができますが、STORM MOBILE では、10bit でのモニター出力に対応していません。

3 内容を確認する

手順2で設定した内容に該当するフォーマットが一覧で表示されます。

チェックが入っているフォーマットのプロジェクトプリセットが作成されるので、必要に応じて、使用しないフォーマットのチェックをはずします。

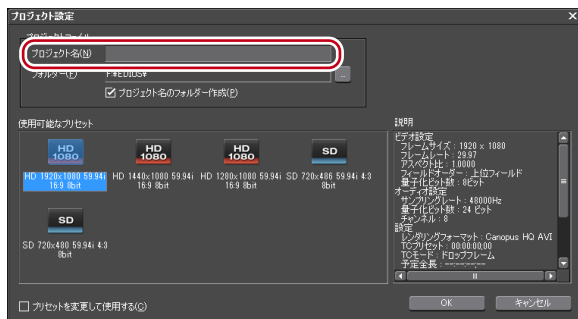


4 [完了] をクリックする

〈プロジェクト設定〉(簡易設定)ダイアログが表示され、〈使用可能なプリセット〉に、作成したプロジェクトプリセットがアイコンで表示されます。

続いて、新しいプロジェクトを作成します。

5 〈プロジェクトファイル〉の〈プロジェクト名〉にプロジェクト名を入力する



6 プロジェクトプリセットを選び、[OK] をクリックする

選んだプロジェクトプリセットで、新しいプロジェクトファイルが開きます。



編集環境の設定

このセクションでは、キャプチャやテープ出力に使用する機器の接続情報を登録したり、編集中に使用する機器について設定したりする手順について説明しています。これらの編集環境は、編集作業を始める前に設定しておいてください。

デバイスプリセットを登録する

キャプチャやテープ出力時に使用する外部機器（カメラやデッキ、Web カメラ、マイクなど）や当社製品について、接続情報をデバイスプリセットとして登録し、管理します。キャプチャやテープ出力の際に、登録しておいたデバイスプリセットを呼び出すことで、入出力の操作をスムーズに行うことができます。

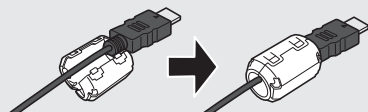
ここでは、STORM MOBILE を入力に使用する場合を例に、デバイスプリセットを登録する方法について説明します。

1 入力に使用する機器を STORM MOBILE に接続する

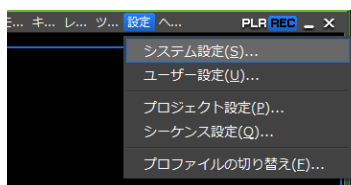
必要に応じて、テープ出力に使用する機器を PC に接続してください。

POINT

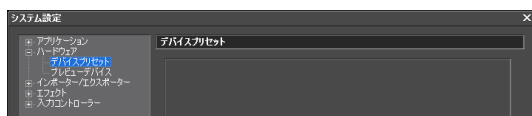
- ファイルベースで映像や音声が記録されている外部機器類（CD/DVD や AVCHD カメラ、SD メモリーカードなどのリムーバブルメディア）は、デバイスプリセットとして登録する必要はありません。
- お持ちの HDMI ケーブルを HDMI OUT 端子に接続する場合、HDMI ケーブルの STORM MOBILE との接続側に、同梱のフェライトコアを取り付けてください。



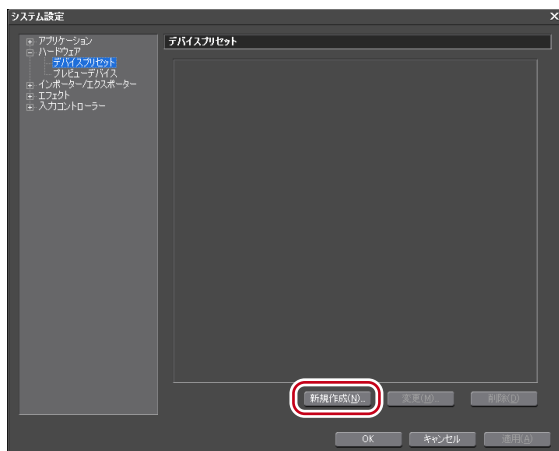
2 メニューバーの〈設定〉をクリックし、〈システム設定〉をクリックする



3 〈ハードウェア〉のツリーをクリックし、〈デバイスプリセット〉をクリックする

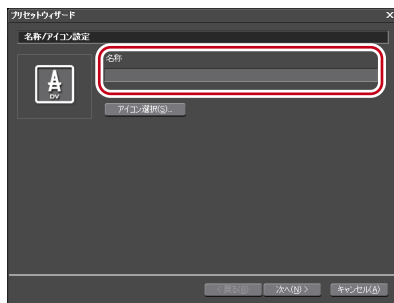


4 「新規作成」をクリックする



「プリセットウィザード」が起動します。

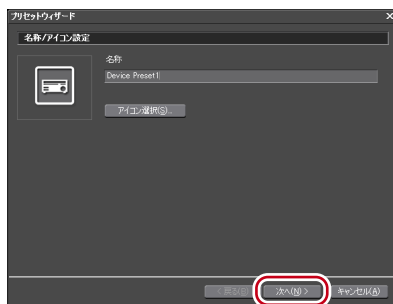
5 デバイスプリセットの名前を入力する



6 「アイコン選択」をクリックし、アイコンの画像を選んで「OK」をクリックする

お好みの画像を使用する場合は、[...] をクリックし、ファイルを選びます。

7 「次へ」をクリックする



入力時の接続情報やフォーマットを設定する画面が表示されます。

8 〈インターフェイス〉のリストをクリックし、〈STORM Mobile〉を選ぶ

〈インターフェイス〉のリストに、装着している製品名が表示されます。入力に使用するインターフェイスを選びます。



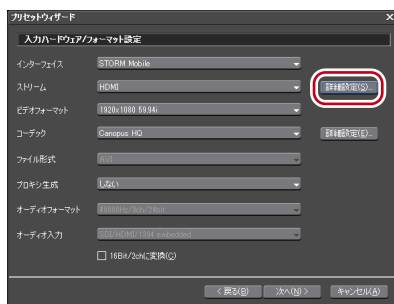
POINT

- HDV 機器を PC に装備されている IEEE1394 端子に接続して入力する場合は〈Generic HDV〉、DV 機器を PC に装備されている IEEE1394 端子に接続して入力する場合は〈Generic OHCI〉、DirectShow ベースのビデオキャプチャデバイス、オーディオキャプチャデバイスから入力する場合は〈DirectShow Capture〉を選びます。入力用のインターフェイスを使用しない場合は、〈なし〉を選びます。

9 〈ストリーム〉のリストをクリックし、ビデオ入力に使用する端子を選ぶ

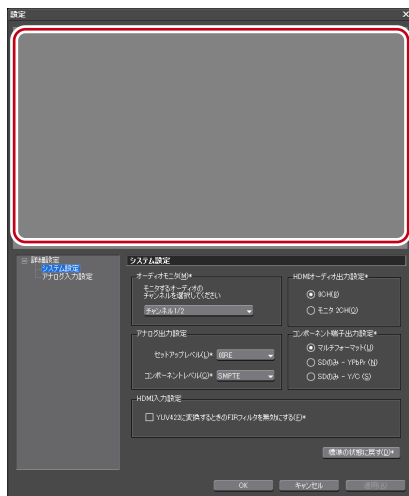
〈HDMI〉、〈Composite〉、〈S-Video〉、〈Component〉のいずれかを選びます。

10 [詳細設定] をクリックする



デバイスプリセットを登録する

STORM MOBILE の入力設定画面が表示されます。
EDIUS がキャプチャに使用する入力機器を認識している場合、画面上部に入力機器からの映像が表示されます。



STORM MOBILE 以外のインターフェイスを使用して入力する場合の設定について詳しくは、EDIUS リファレンスマニュアルを参照してください。

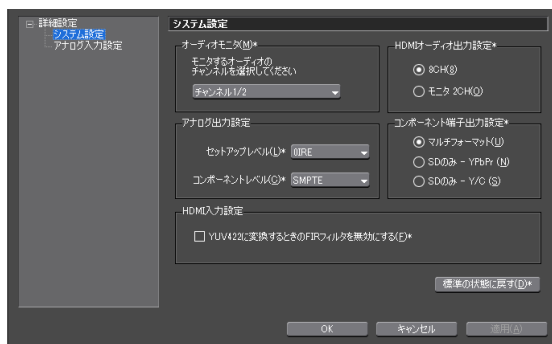
11 〈詳細設定〉のツリーをクリックし、設定する項目をクリックする

12 各項目を設定する

STORM MOBILE の入力設定を行います。
[適用] をクリックすると、続けて他の項目を設定することができます。

◆ システム設定

キャプチャ時に使用するモニター出力機器についての設定です。



オーディオモニタ

モニターするオーディオチャンネルを選びます。

HDMI オーディオ出力設定

HDMI 端子からの出力を設定します。8ch で出力するか、アナログ 2ch で指定したチャンネルで出力するかを選びます。

アナログ出力設定

セットアップレベル

NTSC 時のセットアップレベル（黒レベル）を〈0IRE〉、〈7.5IRE〉から設定します。日本では 0IRE、北米では 7.5IRE が使用されます。

コンポーネントレベル

コンポーネントレベルを〈SMPTE〉、〈BETACAM〉から選びます。

コンポーネント端子出力設定

マルチフォーマット

入力形式によって自動で HD / SD が切り替わります。

SD のみ - YPbPr

ダウンコンバートされたビデオ（コンポーネント YPbPr）が出力されます。

SD のみ - Y/C

ダウンコンバートされたビデオ（S-Video）が出力されます。

HDMI 入力設定

YUV422 に変換するときの FIR フィルタを無効にする

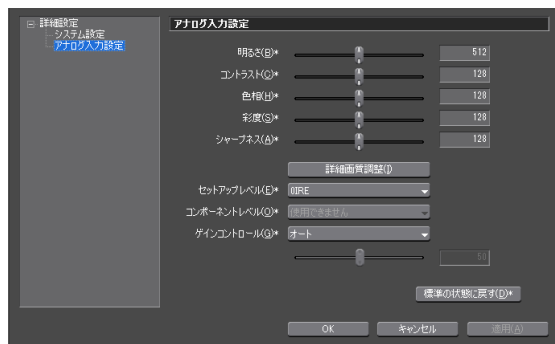
チェックを入れると、デジタルテレビ用の色表現である YUV422 に変換するときに、FIR フィルタを無効にします。

標準の状態に戻す

初期設定に戻します。

◆ アナログ入力設定

キャプチャ時に使用する入力信号調整についての設定です。
手順9で〈Composite〉、〈S-Video〉、〈Component〉を選んで
いる場合のみ設定できます。



明るさ

映像の明るさを調整します。値が小さいほど暗くなり、大きいほど明るくなります。

コントラスト

画像のコントラストを調整します。値が小さいほどコントラストは弱くなり、大きいほど強くなります。

色相

映像の色合いを調整します。黄色を基準とした場合、値が小さいほど赤色が強くなり、値が大きいほど緑色が強くなります。
※コンポーネント入力時は設定できません。

彩度

色の濃さを調整します。値が小さいほど色が薄くなり、大きいほど濃くなります。最小値の0に設定すると、完全なグレースケールになります。

シャープネス

映像の輪郭の先鋭さを調整します。値が小さいほど映像の輪郭がぼやけ、大きいほど輪郭が強調されます。

詳細画質調整

〈詳細画質調整〉ダイアログを表示します。

〈詳細画質調整〉ダイアログ→〈3次元/2次元映像処理〉タブ▶ P48

〈詳細画質調整〉ダイアログ→〈白/黒ゲイン〉タブ▶ P49

〈詳細画質調整〉ダイアログ→〈輪郭強調〉タブ▶ P50

セットアップレベル

NTSC 時のセットアップレベル（黒レベル）を設定します。

コンポーネントレベル

NTSC 時のコンポーネントレベルを選びます。

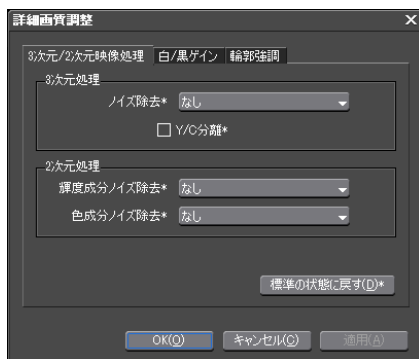
ゲインコントロール

映像輝度を設定します。〈マニュアル〉は輝度を手動で設定します。〈オート〉の場合は、自動で輝度を最適に調整します。

標準の状態に戻す

初期設定に戻します。

◆ 〈詳細画質調整〉ダイアログ→〈3次元/2次元映像処理〉
タブ



3次元処理

3次元ノイズリダクション、および3次元ビデオプロセッシング（コンポジット入力の場合のみ）の効果を設定します。

2次元処理

非線形ノイズ抽出フィルタによりノイズを除去します。3次元処理とは別に設定することが可能です。

輝度成分ノイズ除去

輝度成分（Y）のノイズリダクションの効果を設定します。

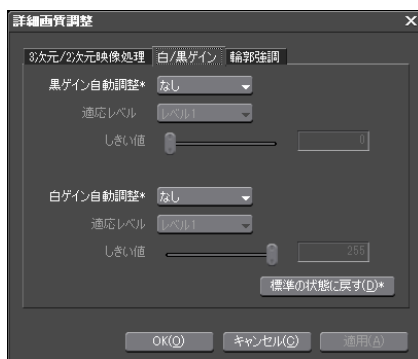
色成分ノイズ除去

色成分（C）のノイズリダクションの効果を設定します。

標準の状態に戻す

初期設定に戻します。

◆〈詳細画質調整〉ダイアログ→〈白 / 黒ゲイン〉タブ



黒ゲイン自動調整

輝度信号に対し、低輝度部分のゲインを強めます。設定を強くするほど、黒が強調されます。〈なし〉に設定した場合、〈適応レベル〉、〈しきい値〉の項目は無効になります。

適応レベル

黒伸張補正量を設定します。補正量が強いほど黒が強調されます。

しきい値

どのレベルの輝度（明るさ）まで黒く強調するかを設定します。カーソルを右に移動するほど明るいレベルに設定されます。

白ゲイン自動調整

輝度信号に対し、高輝度部分のゲインを弱めます。輝度が高く、白くつぶれてしまっているような部分の階調再現性を向上させます。〈なし〉に設定した場合、〈適応レベル〉、〈しきい値〉の項目は無効になります。

適応レベル

白ゲイン制限補正量を設定します。制限量が強いほど白ゲインが低く補正されます。

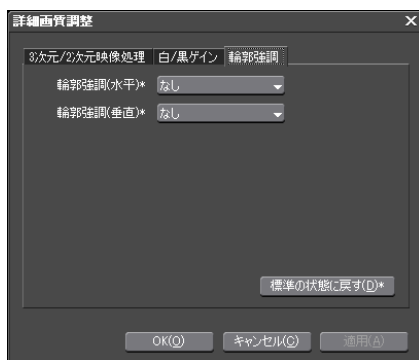
しきい値

どのレベルの輝度（明るさ）まで白ゲインを低く補正するかを設定します。カーソルを左に移動するほど暗いレベルに設定されます。

標準の状態に戻す

初期設定に戻します。

◆〈詳細画質調整〉ダイアログ→〈輪郭強調〉タブ



輪郭強調（水平）

水平方向（横線のエッジ）の輪郭補正を設定します。

輪郭強調（垂直）

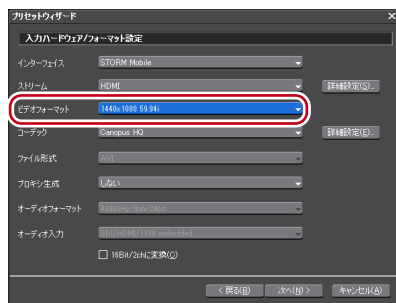
垂直方向（縦線のエッジ）の輪郭補正を設定します。

標準の状態に戻す

初期設定に戻します。

13 [OK] をクリックする

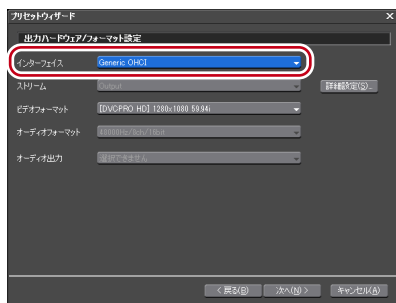
14 <ビデオフォーマット> のリストをクリックし、キャプチャする素材のビデオフォーマットを選ぶ



15 必要に応じて、その他の項目を設定し、[次へ]をクリックする

出力時の接続情報やフォーマットを設定する画面が表示されます。

16 <インターフェイス> のリストをクリックし、出力に使用するインターフェイスを選ぶ



POINT

- PC に装備されている IEEE1394 端子を利用して DV 機器などにテープ出力する場合は、〈Generic OHCI〉を選びます。出力用のインターフェイスを使用しない場合や HDV 機器へ出力する場合、デッキ制御できない機器へテープ出力する場合は、〈なし〉を選びます。
- デバイスプリセットの〈出力ハードウェア / フォーマット設定〉では、EDIUS からデッキコントロールが可能な出力対象機器（テープデッキなど）について設定します。STORM MOBILE では、デッキコントロールが可能な出力機器を接続するための端子がなく、常時、すべての出力端子からプロジェクト設定に応じた映像が出力されます。STORM MOBILE からの出力については、〈プレビューデバイス〉で設定してください。
プレビューデバイスを設定する ▶ P53

出力設定について詳しくは、EDIUS リファレンスマニュアルを参照してください。

17 必要に応じて、〈ビデオフォーマット〉などの項目を設定し、[次へ] をクリックする

18 内容を確認し、[完了] をクリックする



プレビューデバイスを設定する

デバイスプリセット一覧に作成したプリセットのアイコンが表示されます。



19 [OK] をクリックする

デバイスプリセットを使用して、キャプチャや出力を行う手順について詳しくは、EDIUS リファレンスマニュアルを参照してください。

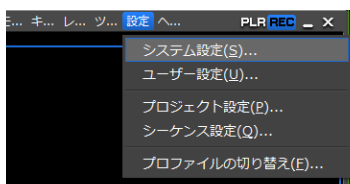
プレビューデバイスを設定する

PC に接続した外部モニターの表示を確認しながら編集を行う場合など、編集中に使用するモニターや当社製品などの機器をプレビューデバイスとして管理し、詳細を設定できます。

ここでは、STORM MOBILE をプレビューデバイスとして使用し、詳細を設定する方法について説明します。

1 編集に使用する機器を STORM MOBILE に接続する

2 メニューバーの〈設定〉をクリックし、〈システム設定〉をクリックする

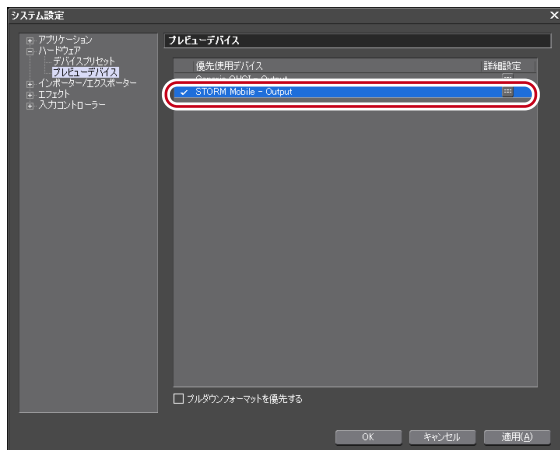


3 <ハードウェア> のツリーをクリックし、<プレビューデバイス> をクリックする



4 <STORM Mobile - Output> をクリックする

使用するプレビューデバイスを選びます。



デバイス名の横にチェックが付きます。

POINT

- <プルダウンフォーマットを優先する> にチェックを入れると、より一般的なフォーマット (59.94i / 50i / 59.94p / 50p) にプルダウン可能な場合、プルダウンを優先して出力します。23.98p / 29.97p / 25p 表示に対応していないモニターをお使いの場合にお試ください。

5 「詳細設定」をクリックする



プレビューデバイスの詳細設定画面が表示されます。
画面上部にカラーバーが表示されます。プレビューデバイスのモニターにも同様にカラーバーが表示されます。



ご注意

- プレビューデバイスが、現在のプロジェクト設定のビデオフォーマットと互換性がない場合、警告メッセージが表示されます。プロジェクト設定をプレビューデバイスに合わせて設定し直してください。

6 各項目を設定する

プレビューデバイスの詳細設定を行います。
[適用] をクリックすると、続けて他の項目を設定することができます。

◆ システム設定

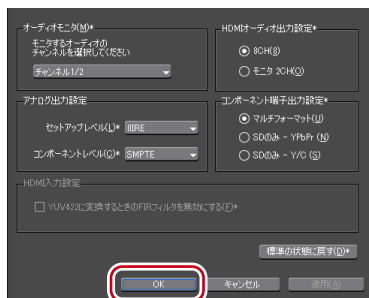
編集時に使用するモニター出力機器についての設定です。
設定項目は、「デバイスプリセットに登録する」の手順 12
の〈システム設定〉と同じです。

システム設定 ▶ P44

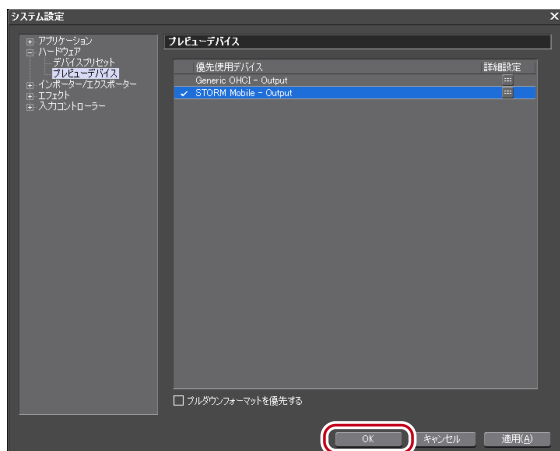
POINT

- 入力（キャプチャ）中の映像を、スルーアウトでコンポーネント端子に出力する場合は、「デバイスプリセットに登録する」の手順 12 の〈システム設定〉で設定してください。
システム設定 ▶ P44

7 [OK] をクリックする



8 [OK] をクリックする



ハードウェア仕様

STORM MOBILE ブレイクアウトボックス

デジタルビデオ	入力	HDMI 端子× 1
	出力	HDMI 端子× 1
デジタルオーディオ	入力	HDMI (LPCM 8ch)
	出力	HDMI (LPCM 8ch)
アナログビデオ	入力	コンポーネント× 1 ※ S-VIDEO 端子は、アナログビデオ端子変換ケーブルを使用して接続します。 コンポジット× 1
	出力	コンポーネント× 1 ※ S-VIDEO 端子は、アナログビデオ端子変換ケーブルを使用して接続します。 コンポジット× 1
アナログオーディオ	入力	アンバランスオーディオ 2ch
	出力	アンバランスオーディオ 2ch
サウンド	ステレオミニジャック	
電源	DC 5V ※デスクトップ PC 接続時： PC 内部から 4 ピン電源端子に供給 ※ラップトップ PC 接続時： AC アダプターから供給	

最大消費電流	5V 2.5A (12.5W)
動作温度	0 ~ 45℃
動作湿度	80% 以下 (結露のないこと)
サイズ	165mm (W) × 42mm (H) × 142mm (D) (突起部を除く)
質量	約 1200g

STORM MOBILE BAY

デジタルビデオ	入力	HDMI 端子 × 1
	出力	HDMI 端子 × 1
デジタルオーディオ	入力	HDMI (LPCM 8ch)
	出力	HDMI (LPCM 8ch)
アナログビデオ	入力	コンポーネント × 1 ※ S-VIDEO 端子は、アナログビデオ端子変換ケーブルを使用して接続します。 コンポジット × 1
	出力	コンポーネント × 1 ※ S-VIDEO 端子は、アナログビデオ端子変換ケーブルを使用して接続します。 コンポジット × 1
アナログオーディオ	入力	アンバランスオーディオ 2ch
	出力	アンバランスオーディオ 2ch
サウンド	ステレオミニジャック	
電源	DC 5V ※PC 内部から 4 ピン電源端子に供給	
最大消費電流	5V 2.5A (12.5W)	

動作温度	0 ～ 45℃
動作湿度	80%以下（結露のないこと）
サイズ	148mm（W）× 42mm（H）× 142mm（D） （突起部を除く）
質量	約 800g

STORM MOBILE PCI Express カード

サイズ	58mm（W）× 40mm（H） （PCI ブラケットを除く）
-----	------------------------------------

STORM MOBILE ExpressCard

サイズ	34mm（W）× 5mm（H）× 75mm（D） ※ ExpressCard/54 スロット用アダプター装着時： 54mm（W）× 5mm（H）× 75mm（D）
-----	---